

手づくり絵本コンクール

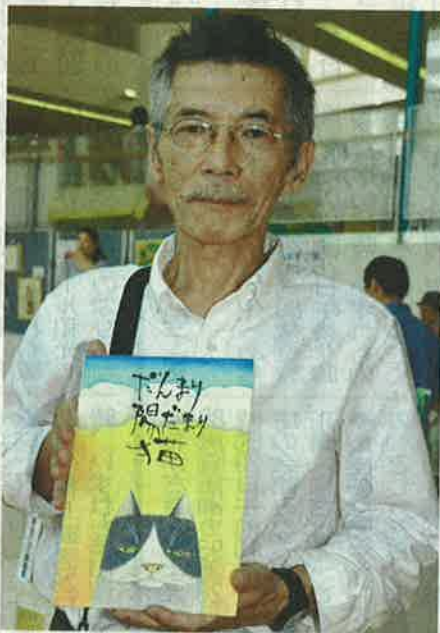
最優秀賞に市岡さん

手作り絵本の出来栄を競う「おおしま国際手づくり絵本コンクール2013」（射水市絵本文化振興財団主催、読売新聞北陸支社など後援）の表彰式が27日、射水市鳥取の市大島絵本館で開かれ、最優秀賞の文部科学大臣賞に京都府亀岡市の市岡哲夫さん（62）が輝いた。市岡さんの作品「だんまり陽だまり猫」は同館

から出版される。

「だんまり陽だまり猫」は、民家に現れ、縁側の日だまりで寝ていたメス猫が産し、子猫4匹を連れて来るまでを描いた物語。審査講評などでは、「猫の産産を淡々と描いているが、ほのぼのとした展開で、絵本の可能性を感じた」などと評価された。

作品は、市岡さんが中学



最優秀賞の市岡哲夫さん（射水市大島絵本館で）

生の頃、大阪市の実家で見えた猫の親子をヒントにした。市岡さんは商業デザイナを経て、現在は趣味で人形などを制作。同コン

クール応募も受賞も初めて。受賞スピーチでは、「親猫が子猫を優しく見守る姿に感動し、いつか表現したいと思っていた」と話

した。

奨励賞の読売新聞北陸支社賞には、富山市北代の高齢者デイサービス施設「あさひホーム」の「雀の長者」が選ばれた。心優しいお年寄りがスズメの応援で大金持ちになる物語で、同市呉羽地区の民話をもとに施設利用者が創作し、版

面の挿絵もつけた。ホーム

長の高田真行さん（50）は「受賞は光栄。利用者様の発想力のたまものです」と喜んでた。

コンクールは20回目で、35都道府県と海外4か国から計305作品の応募があった。表彰式には審査委員長を務めた絵本画家の黒井健さん（65）（川崎市）らが出席した。